

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	20回（40単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：23年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
様々な業界企業および周辺企業について学ぶ。					
到達目標					
業界企業の相関性について、イメージできるレベルでの知識の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1回目	芸能業界の全体像について
【後期】 2～3回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について
【後期】 4～5回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について
【後期】 6～10回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究
【後期】 11回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて
【後期】 12～13回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて
【後期】 14～17回目	ホール/ライブハウス/イベントについて
【後期】 18～19回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について
【後期】 20回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。適宜発言を求めているので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名		プロダクション・レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義		必修
				年次	1 年次		
授業時間		90分（1単位時間45分）	年間授業数	21回（42単位時間）	年間単位数	2 単位	
科目設置学科コース		音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件		実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴		実務経験：23年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。					
授業概要							
マネージャーやファンクラブおよびレコード会社業務の基礎と、サブスクリプションサービス等最新の業界動向について学ぶ。							
到達目標							
マネージャーやファンクラブスタッフおよびレーベルスタッフとしての基本的な業務知識、業界用語の習得。							

授業計画・内容	
【前期】 1回目	授業概要説明
【前期】 2～4回目	プロダクションの業務内容について
【前期】 5～6回目	ファンクラブについて
【前期】 7～10回目	レコード会社の業務内容について
【前期】 11～14回目	マネジメントに求められる力/情報収集 アーティストブランニング
【前期】 15～16回目	スケジュールの組み方
【前期】 17～18回目	プロモーション/媒体の知識/プロモーション方法
【前期】 19～20回目	アーティストプロフィール作成
【前期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。適宜発言を求めているので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	著作権講座		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	1 年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	20回（40単位時間）	年間単位数	2 単位					
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	実務経験：23年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。									
授業概要										
音楽著作権をはじめとする著作権知識を学ぶ。										
到達目標										
将来音楽ビジネスを行うにあたり、実務として行っていることが、法に抵触するか否かの判断力を養えるようになる。										

授業計画・内容	
【後期】 1～5回目	著作権の概要 著作物、著作者
【後期】 6～8回目	著作者の権利
【後期】 9～11回目	保護期間～著作権譲渡と利用許諾について
【後期】 12～15回目	著作権の制限について
【後期】 16回目	著作隣接権について
【後期】 17回目	著作権の侵害について
【後期】 18回目	知的財産権制度
【後期】 19回目	情報社会と情報モラルについて
【後期】 20回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	ウイネット ビジネス著作権検定 公式テキスト およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名		コンサート制作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
				年次	1 年次	
授業時間		90分（1単位時間45分）	年間授業数	21回（42単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース		音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件		実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴		実務経験：32年。 レコード会社勤務後、 プロダクションでのマネジメント業務を経て独立。自身の会社を立ち上げ、数々のアーティストをマネジメントし現在に至る。近年はプロモーション委託や、エージェント業務など幅広く手掛ける。				
授業概要						
コンサート制作における、主として企画面やイベンター業務について学ぶ。 この科目で学習した内容について、後期「音楽スタッフ実習Ⅰ」にて実習する。						
到達目標						
基礎的なコンサート制作業務についての流れの理解、簡単な企画書や予算書などの書類作成知識の修得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	授業概要説明。 ライブハウスでのコンサート制作基礎。
【前期】 4～6回目	コンサート制作基礎用語について。
【前期】 7～8回目	ブレインストーミング・コンセプト会議
【前期】 9～10回目	ライブの各セクションについて
【前期】 11～12回目	7月実施の講師見本ライブを例に ・段取り、手順、必要なものを考える。 ・告知、プロモーション、予算組みなど。
【前期】 13～14回目	セット図、タイムテーブルなど。
【前期】 15～18回目	7月実施の講師見本ライブの運営、手順について。 予算、宣伝について。
【前期】 19～20回目	ツアーの組み方、予算、売り上げなど。 ツアー工程表など、マーチャンダイジングについて。
【前期】 21回目	グッズとコンサートの関係性、企画。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室、ホール内は飲食禁止。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：28年。 CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
Illustrator、Photoshopの基礎的な操作およびWord、Excelの基本的な使用方法について学ぶ。					
到達目標					
フライヤーやホームページ制作に必要とされる基礎的なデザイン知識や技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～7回目	PCの操作：フォルダ関連、マウスの使い方、アプリの起動と終了方法について Wordの基本知識と操作
【前期】 8～12回目	Excelの基本知識と操作 印刷・Webの違い
【前期】 13～25回目	Illustrator ・画面の見方、各ツールの使い方 ・パスを用いた簡単なイラスト制作
【前期】 26～37回目	Photoshop ・画面の見方、レイヤーの仕組みについて、各ツールの使い方 ・グラデーション、フィルターについて
【前期】 38～44回目	デザイン課題：名刺制作
【後期】 45～53回目	デザイン課題：バナー画像制作
【後期】 54～65回目	デザイン課題：フライヤー制作
【後期】 65～74回目	デザイン課題：Webデザイン
【後期】 75～84回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁重に扱う事。教室内は飲食不可。授業作成データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニングⅠ		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	1年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	21回（42単位時間）	年間単位数	2単位					
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒									
担当講師 実務経歴										
授業概要										
社会人としての一般常識や所作、礼儀作法を学ぶ。										
到達目標										
秘書検定3級に合格できるまでの知識習得と、履歴書作成・面接対策の基礎を一通り習得している。										

授業計画・内容	
【後期】 1～4回目	必要とされる資質～職務知識について
【後期】 5～6回目	一般知識 ・企業の基礎知識について
【後期】 7～8回目	一般知識 ・企業の組織と活動について ・社会常識について
【後期】 9～10回目	マナー・接遇 ・人間関係と話し方について ・話し方・聞き方の応用について
【後期】 11～12回目	マナー・接遇 ・電話の応対について ・接遇について ・交際について
【後期】 13～16回目	マナー・接遇 ・冠婚葬祭 ・宴席
【後期】 17～18回目	技能 ・会議と秘書について
【後期】 19～20回目	技能 ・文書管理/資料管理/日程管理・オフィス管理について
【後期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	早稲田教育出版 秘書検定3級 クイックマスター およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：26年。 ライブハウスからドームクラスまで、様々な規模のPAオペレートを経験。自身の会社も立ち上げ、後進の指導などマルチな活動を行っている。				
授業概要					
音響について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。また、それに付随し、楽器の取り扱いやメンテナンス方法についても学ぶ。					
到達目標					
コンサート・ライブに於ける音響および楽器知識と技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	機材ごとの名称と役割及び収納方法について
【前期】 3～5回目	機材のセットアップ、ミキサー卓について
【前期】 6～8回目	楽器について（ドラム、ギターアンプについて）
【前期】 9～15回目	ステージインプット、回線チェック、マイクの種類、イベントに向けた資料の見方、モニターの仕込みについて
【前期】 16～22回目	ステージインプット、回線チェック、モニターの仕込みについて ギターやベース、ドラムも適宜使用しながら実施
【後期】 23～26回目	デジタル卓について ステージインプット、回線チェック、モニターの仕込みについて
【後期】 27～34回目	デジタル卓でのミキシングバランスについて
【後期】 35～39回目	イベントに向けた対策 データ再生でのミキシング
【後期】 40～41回目	インストアライブ風仮設セットアップ 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明基礎実習		授業形態 / 必・選	実習		必修
			年次	1 年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	2 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：14年。 ライブハウスでの照明スタッフを経て独立。ライブハウス業務の一環として企画制作やデザインなども行い、様々な角度から音楽業界に関わっている。					
授業概要						
照明について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。						
到達目標						
コンサート・ライブに於ける照明技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリエンテーション。 照明の目的。 照明スタッフの一日。舞台用語について。
【前期】 4～7回目	用語。安全管理。
【前期】 8～10回目	調光の仕組み。照明の種類。
【前期】 11～15回目	光の性質。電気の性質。DMX。調光卓の使用法。
【前期】 16～22回目	実技演習。照明が与える印象について。
【後期】 23～28回目	演出について。 光と色について。照明プラン、仕込み図について。
【後期】 29～34回目	本番ライブ開催に向けての仕込みと反復練習。
【後期】 35～39回目	「音楽スタッフ実習」と連動してのライブ開催。 イベント対策～本番後の反省まで。
【後期】 40～41回目	照明オペレート実技。 総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経歴：33年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのレコーディングからミックスまで学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディングスタジオのシステムを覚える。 「スタジオの使用注意」の説明。電源ON/OFF。関連英単語テスト。CD視聴会。
【前期】 5～8回目	信号の流れ（マイク～スピーカー） コネクタの種類、ケーブル巻き。 マイク、マイクスタンド、HA、インターフェース。
【前期】 9～12回目	HA、インターフェース、PC。 Protoolsのセッション作り。 パワーアンプ、スピーカー、CueBox、ヘッドフォン。
【前期】 13～17回目	弾き語りレコーディングの準備。セッション、クリック作り。
【前期】 18～22回目	弾き語りアーティストのレコーディング①
【後期】 23～27回目	ミックス。バウンスを学ぶ。 バンド録音を想定したセッティング。
【後期】 28～32回目	レコーディングを想定したセッティング。 ProTools操作、マイクチェック、マイクセット。 略譜面を作る→歌詞カードでカウント取りの練習。
【後期】 33～38回目	弾き語りアーティストのレコーディング②
【後期】 39～41回目	いろいろな編成のセッティング。 Protoolsのオペレート。 総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
映像編集ソフトを用いた編集の基礎を学び、ページックな作品を制作する。					
到達目標					
撮影機材の取扱いや編集ソフトの使い方の基礎技術の習得。 独力で簡単な作品の編集が可能な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	データ管理、映像制作について。 Premiere基礎/UIの説明、基本編集操作。
【前期】 6～10回目	撮影の初歩技術。 動画制作実習：トレーラームービーの制作。
【前期】 11～15回目	撮影の初歩技術。 トレーラームービーの制作。 自己紹介動画の制作。
【前期】 16～22回目	Premiere基礎。 図形の作成、マスクの適用など。
【後期】 23～28回目	カメラ操作。 撮影実習。
【後期】 29～33回目	学科プロモーション動画の制作。
【後期】 34～37回目	マルチカメラ編集。
【後期】 38～40回目	オンライン映像配信について。 「音楽スタッフ実習」と連動した企画ライブの撮影～編集。
【後期】 41回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室中は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名		音楽スタッフ実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
				年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	61回（122単位時間）	年間単位数	4 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：32年。 レコード会社勤務後、 プロダクションでのマネジメント業務を経て独立。自身の会社を立ち上げ、数々のアーティストをマネジメントし現在に至る。近年はプロモーション委託や、エージェント業務など幅広く手掛ける。					
授業概要						
前期実施の「コンサート制作講座」に基づき、学生企画によるライブイベントを行う。 コンサート制作、舞台制作、PA、照明、映像制作など、様々な職種の経験をする。						
到達目標						
タイムテーブル作成やアーティストのブッキング方法などのノウハウの習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	企画コンセプトの立案
【前期】 6～10回目	公演概要作成
【前期】 11～15回目	コンセプトや公演概要に基づく、出演者ブッキング
【前期】 16～21回目	予算提出 タイムテーブル作成
【後期】 22～29回目	フライヤーやホームページの基本デザイン
【後期】 30～37回目	SNS開設～管理方法について
【後期】 38～49回目	イベント宣伝 ・フライヤー配布、ホームページ開設。SNS運用。
【後期】 50～56回目	本番準備 ・会場装飾、楽屋設置品、ケータリング、当日折り込み、機材申請、備品申請
【後期】 57～61回目	イベント本番実施 各種報告（反省会）
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室、ホール内は飲食禁止。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払う事。
使用教科書	授業資料として、公演概要書などのフォーマットをEXCELやP D F 形式で配布。

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習		必修
			年次	1 年次		
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	8回 (32単位時間)	年間単位数	2 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場やイベントにおける作業、流れ等のノウハウや最新技術の習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						

授業計画・内容	
1～7回目	学校法人イーエスビー学園主催イベント①～⑦
8回目	InterBEE見学
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等しっかりと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布